

- 平成23年3月1日発行
- 編集発行：宮崎県美郷町
- 宮崎県東臼杵郡美郷町
西郷区田代1番地
- TEL 0982-66-3601
- FAX 0982-66-3137
- ホームページ

<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>



百済王族伝説をしのぶ 師走祭り

百済の王族亡命伝説をしのぶ、師走祭りが南郷区で行われました。迎え火の火の粉が舞う中、比木神社(木城町)からのご神体の行列が、厳かに神門神社に向かいました。

百済王伝説の再現！「師走祭り」

百済王伝説を再現した師走祭りが、1月21日(金)から23日(日)の3日間おこなわれました。

上りましの21日は伊佐賀神社・日向市東郷町まで神門神社二行が迎えに出向き、比木神社一行と1年ぶりの再会を果たしました。ここからは、たくさんカメラマンや報道陣、観光客も加わって神幸行列にも勢いが増し、徒歩で王の墓といわれる塚の原古墳を目指しました。古墳に到着すると塚の前に両神社のご神体が並べられ、両神社から神楽が奉納されました。ここからは師走祭り体験バスツアーの参加者も加わり賑わいを増しました。また観光客や報道陣には地元公民館よりおにぎりや鳥汁などが振る舞われました。故事にのっとり野焼きが始まると、神門神社一行を先頭に塚の周りを、「オー」という掛け声を響かせながら回り、昔の道をたどって神門神社を目指します。神門神社の神域に入る手前の小丸川衣淵では神職と共に、入り厄も加わって「みそぎ」が行われ、沿道、川岸にはたくさんのお見物客で賑わいました。神門神社一本鳥居前の田んぼには、公民館や商工会、各種団体などが竹や杉で組立てた高さ5メートルにも及ぶ杉櫓33基が並立。神幸行列の進行に合わせてように次々に迎え火が放たれ火の粉が幻想的に宙を舞い夜空を照らしました。それぞれの櫓の回りでは、直会が行われ、親子のご神体を迎えながら夜遅くまで祭りの雰囲気

を味わっていました。

中日の22日は午前中から神事や祭典も古式にならう形で厳かに行われ、ご神体の衣替えやドラム隊での神楽奉納などが行われました。夜は、優雅な神楽のほかユーモラス、エロチックな多彩な神楽十八番が奉納されると同時に、御神屋(みこや)の回りでは、振舞われる焼酎や餅まきが行われ多くの見物客を楽しませて、にぎやかな夜神楽となりました。下りましの23日は、別れの悲しみを隠すために行ったといわれる「ヘグロ塗り」が神門神社境内で始まり、氏子や神職らは見物客やカメラマンなど、誰彼かまわず顔に墨をつけて回りました。神社本殿で最後の祭典を行った後、境内階段を下り一本鳥居をくぐり帰路につきましました。神門神社関係者や地元民が鍋やひしゃくを手に比木神社一行を、オサラバー、オサラバーと見送り、静かな山里に別れを惜しむ声が続きました。

今年も、櫓設置にご協力いただいた団体及び小路前田の田んぼを提供していただいた皆様へ紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



「師走祭り日帰りバスツアー」開催

今年も、「みやざき一村一祭りアピール事業」により、宮崎交通と連携して日帰りバスツアーが開催されました。参加者は宮崎市内を中心に遠くは都城市から、64名の参加者があり、師走祭りの初日行事を満喫しました。一行は、昼に到着し、地元加工グループなどが作った田舎料理のバイキングで昼食をとり、渡川地区に伝わる神楽を觀賞しました。その後、観光施設を見学し、塚の原古墳(禰嘉王の墓)で王族を迎えました。ここからは、ご神幸の後から行列に参列し祭りに加わりました。参加者の皆さんは、心温まる郷土料理の旨さ、加えて行く先々での暖かいおもてなしに感動し、来年以降もこの祭りに参加したいと感想を述べられています。



平成22年度

「第5回美郷町女性のつどい」開催！

1月30日に北郷区総合交流センターにおきまして第5回美郷町女性のつどいが開催されました。町内から140名余りの婦人連絡協議会の会員が集まり午前中に総会と講演会を行い、午後からは、「ふれあいのひと時」が行なわれました。

講演会では、宮崎大学安全衛生保健センターの江藤先生による「地域づくりは元気づくり」元気であふれる病気の付き合い方」という演題で講演が行なわれ、どうしたら笑顔で元気がよく病気がつきあうて行けるのか？という話でユーモアを交えながら楽しく講演していただきました。お昼の休憩時間には、五十鈴川流域森と水を守る協議会の提供による、いりこのつかみ取りが行なわれ大勢の人が参加していました。

午後からの「ふれあいのひと時」では、各区からの踊りや人形劇などが披露され楽しいひと時をすごしました。



日高会長あいさつ



江藤先生の講演



北郷区人形劇



いりこのつかみどり風景



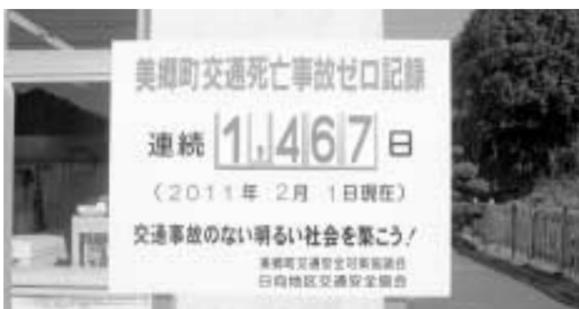
北郷区踊り



南郷区フラダンス

交通死亡事故ゼロ記録表彰 連続1460日(4年間)

美郷町は交通死亡事故ゼロの期間が平成23年1月26日で、連続1460日となりました。この程、県知事より模範的自治体と認められ、表彰を受けました。また、これに併せて、交通安全協会の協力により、役場庁舎前に交通死亡事故ゼロ記録の看板を設置しました。今後も、更に記録が更新されますよう、交通安全にご協力をお願いします。



第3回全寿大学

2月8日に高齢者生涯学習講座「全寿大学」が開催され22名が参加しました。

午前中は西郷図書館の職員が図書館の蔵書やおススメの本の紹介をしました。また、絵本の読み聞かせや牛乳パックを使った万華鏡を作りました。

午後からは日向入郷地区ひまわり基金法律事務所から鈴木弁護士を招いて消費生活啓発講演会を行いました。オレオレ詐欺の事例紹介や訪問販売におけるクーリングオフ等についてのわかりやすい説明がありました。



詐欺に気をつけましょう

誰もが住みたくなる 美しい町づくり

町では「誰もが住みたくなる美しい街づくり」を目指して、今年二月と三月に町内の国道、主要町道の美化パトロールを行っています。この事業は宮崎県緊急雇用創出事業を活用し、町が委託した業者が新たに二名の従業員を雇用して行っているものです。

町内の一区で、三日間に収集した沿道の空き缶などが軽トラック二台もありました。町内全域では膨大な量の空き缶などが捨てられている状況です。町では今後も環境美化に取り組んで行くことにしています。

美しい町づくりで、住みやすく、定住促進もできる町をつくりましょう。

(町民生活課)



第7回 御田の里学園

1月18日に高齢者生涯学習習団体「御田の里学園」19名は視察研修を実施しました。初めに宮崎日日新聞社佐土原センターを視察し、最新鋭の印刷機械の見学や新聞記者の取材から新聞が配達されるまでの行程等を学ぶことができました。

次にみやざき歴史文化館で考古歴史について説明を受け古代の生活様式等を学びました。また、同施設で玉づくりを体験し各自オリジナル玉が玉を持ち帰りしました。

今回は古代から最新鋭技術を一度に学習し技術の進歩を改めて実感しました。

見学記念新聞を作ってもらいました



博多座(福岡市)で 農産加工品 PR活動を開催実施

2月1日～7日までの間、福岡市にある演劇場「博多座」で2月1日～7日までの間、町内加工グループを中心に農産加工品のPR活動を実施しました。会場では歌舞伎を観劇に来られたお客様へ試食販売を行い、美郷町のふるさとの味を堪能頂きました。

このPR活動は3年目を迎え、美郷町の農産加工品の販売PRを楽しみにされている常連のお客様も増え、美郷町を知っていただく機会となっています。

今後は博多座と美郷町が連携した博多座オリジナル商品の開発を行い、安定したPR販売活動を行う予定です。

皆様もぜひ博多座で観劇されてはいかがでしょうか。



さいごう「きんかん」 避難所に届ける

美郷町さいごう完熟金柑部会 部会長 山崎 武 氏は、2月7日新燃岳の噴火で避難生活を送っている人々を元気づけようと、金柑60kgと朝色紅茶を避難所である高原町総合保健福祉センターに届けました。

日高光浩町長がこれまでの被災の状況等を話され、感謝の言葉を述べられました。

感謝の言葉を述べる日高光浩町長



金柑部会役員 (左から大野節男・山崎武・富井敏郎)

平成22年度コミュニティ(宝くじ)助成事業 仁田自治公民館 放送設備、机、椅子、AEDを購入

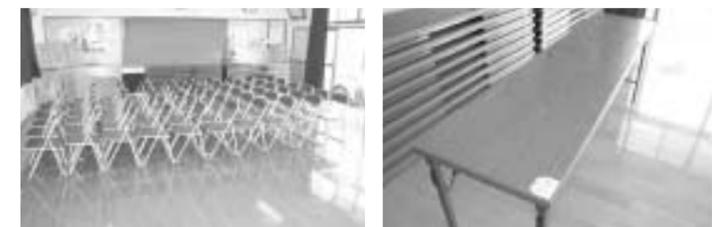


コミュニティ助成事業(自治総合センター)を活用し、仁田自治公民館 芳村弘美館長が、各種会合等で使用できる放送設備や高机、椅子、AEDを整備しました。

今後、これらの備品は自治公民館活動の各種行事等に活用され、地域コミュニティの輪が広がっていくことになります。

【整備したもの】

- 放送設備(アンプ・マイク等)1式
- 折畳机 20台
- テレビ 1台
- 折畳椅子 60脚
- BS・CSアンテナ 1台
- AED 1式



グループホーム みさと開設

平成23年4月1日より、平成22年度美郷町介護基盤緊急整備特別対策事業補助金の制度により、(福)清風会 特別養護老人ホーム若宮荘の隣に、グループホーム「みさと」(認知症対応型老人共同生活援助事業)が開設いたします。認知症の方が、定員9名で家庭的な雰囲気の中で共同生活をする施設です。

今回、美郷町の補助事業により、大変お世話になりました。地域の福祉向上のために、職員一同、一層努力いたしますので、宜しくご支援ご協力をお願いいたします。

尚、詳細は、3月中は若宮荘、広瀬までご連絡下さい。4月からは、グループホーム「みさと」で相談等受け付けます。



「花水流ひょうたんず」が優勝 第76回西郷区ミニバレーボール大会

1月23日(日)に、第76回西郷区ミニバレーボール大会が北郷区総合交流センターで開催されました。今回の参加チーム数は、50代が13チーム(72名)、60代が6チーム(35名)の参加で行われました。

試合は50代が3コートに分かれ、各コートから勝ち上がり3チームのリーグ戦、60代は1コートで総当たり戦を行いました。各チーム5試合と試合数が多いために、2セットまでの得失点で勝敗を決めるやり方で、それぞれ熱戦が繰り広げられました。

その結果、50代は花水流ひょうたんずが5大会ぶりに返り咲き、見事に優勝することが出来ました。決勝戦では3コートからの勝ち上がりチームで、すばらしい決勝戦が見られました。また、60代も熱戦続きの中、得失点差でハートフルチームが久々の優勝杯を手に致しました。これからも練習に励んで下さい。お疲れ様でした。

この76回大会で平成22年度の試合が全て終了しました。13団体の各理事の皆様、試合の抽選から試合人員のお世話までご苦労様でした。ご協力に感謝致します。有り難う御座いました。

なお、平成23年度大会は3月の総会で決定致します。



50代 花水流ひょうたんず チーム 60代 ハートフル チーム
甲斐治好 甲斐延江 長友忠明 長友敏江
山下 諭 藤田律子 鍋島 武 富田友子

第76回大会 試合結果

50代	優勝	花水流ひょうたんず チーム
	準優勝	ハートフル チーム
60代	優勝	ハートフル チーム
	準優勝	花水流チーム

美郷町軟式野球連盟西郷支部平成22年度年間成績発表! ～若宮カグラーズが大会2連覇～

7チーム参加により、春季トーナメント大会と秋季トーナメント大会の2大会が開催され、見事、若宮カグラーズ(田中秀俊監督)が2連覇を果たしました。大会の運営にご協力いただいた皆さん誠にありがとうございました。成績は次のとおりです。

【打者部門】

- 打点王 橋口孝幸(和田マリナース) 4打点
- 打率王 小田将之(若宮カグラーズ) 11打数7安打 6割3分6厘
- 本塁打王 該当なし

【投手部門】

- 最多勝 小田将之(若宮カグラーズ) 4勝
- 奪三振王 小田将之(若宮カグラーズ) 23奪三振



歌会始詠進要領について

平成24年歌会始のお題は「岸」と定められました。歌によむ場合は「岸」の文字が詠み込まれていけばよく、「海岸」「川岸」のような熟語を使用しても差し支えありません。

詠進歌は、1人1首とし、未発表のものに限ります。詠進の期間は、9月30日までとなっております。詳しくは宮内庁ホームページをご参照ください。

町政へ質問や提言 南郷中子ども議会

1月17日(月)に、南郷中学校子ども議会が美郷町議会議場で行われました。3年生34人が議員となり、それぞれ福祉、商業、農業、林業、行政、町おこしの6班に分かれて質問や提言を行いました。生徒たちはこの子ども議会を迎えるまでに、地域の方や役場の職員に聞き取りをしたり、インターネットで調べたり、様々な方法で2学期から準備を進め、地域をこころした方が良いのではないかと提言をまとめてきました。



林業班の提言では、森林のデータベース化により効率的な森林管理を行うとともに、木目の美しい模様が出る無節材の生産を行うこと、また、作業中の危機管理を徹底するためにリスクアセスメントを導入することなどを提案しました。各班の地元に対する熱い思いを聞いた町長は、中学生ならではの新鮮な意見に「非常に良い提言を頂いた。参考にしたい。」と感心していました。生徒の皆さんが将来の美郷を担う町民として成長することを大いに期待したいと思えます。

「入郷百射会」開催

去る1月16日(日)西郷弓道場、代小学校横峰農村広場内において、入郷百射会が開催されました。当日は、寒波の襲来で雪が舞ったなか、日向支部、都農支部から参加した9名で競技が行なわれました。例年は参加人数による時間の関係で1人百射はなかなか出来ないのですが、今年は少人数のため可能でした。毎年1月に西郷弓道場で開催される入郷百射会に美郷町のみならずも練習して参加しませんか。弓道に興味のある初めての方は、まずお問い合わせ下さい。



「集中力がカギです」

(競技結果)
優勝 奈須 博 参段 (79中)西郷区
2位 佐藤康則 錬士五段 (55中)日向市
3位 山中 誠 五段 (46中)椎葉村

(問合せ先)
西郷弓道クラブ事務局
奈須博 ☎66・2825

楽しいよ!「人権かるた」

宮崎県内の小中学生および高校生によって作られた人権かるたで遊びながら人権について触れてみませんか。



北郷小学校キッズ学園でのかるた遊びの様子



思いやりの心咲かせます!

1月は、田代小学校と北郷小学校のキッズ学園での利用がありました。児童の皆さんは、人権擁護委員さんから人権についてのお話を聞いたり、かるたをとおして相手を思いやることの大切さについて学びました。また花の球根のプレゼントもありました。きれいな花が咲くといいですね。このかるたの利用を希望する団体やグループがありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先
総務課 ☎66 3601



もう一度「鶏舎」の点検を!!

高病原性鳥インフルエンザの発生が県内で確認されています。
養鶏農家・愛玩鳥を飼育されている農家の皆さんは、再度、鶏舎の点検をお願いします。

- ①防鳥ネットや鶏舎に破損やすき間がないか再点検を!!
- ②鶏舎の出入り口での消毒の徹底を!! (消毒槽設置)
- ③鶏舎専用の長靴や作業着の着用の徹底を!!
- ④野鳥(カラスやハト、スズメ)・ねずみ等の侵入に注意を!!

飼育している鳥に異常が見られたら、関係機関にすぐ連絡をお願いします。

延岡家畜保健衛生所 ☎0982-32-4308 農業振興課 ☎0982-66-3605

日向広域情報

野宮神社大祭(座頭神祭)

3月28日(月)
諸塚村南川地区
吉野宮神社にて
吉野宮神社大祭
(座頭神祭)を開催
します。
吉野宮神社は、
足利時代中期に
この宮の東で検
校位の座頭が賊
によって殺され
宮地に放され、それを村人が祭つたとされ
ており、昔から目の神様・病気を治す神様
として崇められています。また、五味太郎
氏の絵本「吉野宮物語」で書かれた吉野宮
伝説の舞台でもあります。



昭和38年より毎年3月28日に大祭開催
日と定め、昭和59年には500年祭が行わ
れた大変歴史と伝統あるお祭りです。
今年は、女性薩摩琵琶奏者 北原香葉
子氏の初来山公演、また南川地区の伝統
芸能南川神楽、箕舞が披露されることにな
っています。
ぜひ吉野宮神社大祭、また春爛漫の諸
塚村へお越しください。

吉野宮神社大祭(座頭神祭)

期日：平成23年3月28日(月)
時間：午前8時30分～午後3時
会場：諸塚村南川 吉野宮神社
問い合わせ：諸塚村観光協会
(しいたけの館21) ☎65・0178

地デジ相談員について

町では、地上デジタル放送移行への対応や、美郷町ケーブルネットワークについての様々な相談に対応するため「地デジ相談員」を配置しました。

従来のアナログテレビ放送は平成23年7月までに終了し、地上デジタル放送に完全移行します。本町ではそれに対応するため町内全域へのケーブルテレビ拡張整備を進めており、現在引込工事及び宅内工事を行っているところです。

地デジやケーブルネットワークについての相談がある場合は、役場企画情報課(電話66-3603)までお気軽にお問合せ下さい。又、戸別訪問による相談が必要な方については、相談員による戸別訪問にも対応致します。

【相談内容】

- ・自宅で地上デジタル放送を視聴するための方法について
- ・美郷町ケーブルネットワークに対する問合せについて など

相談員につきましては、町が発行した身分証明書を携帯していますので、各世帯に訪問した際には必ずご確認ください。

ケーブルで拓く美郷の未来!!

野鳥との接し方について



野鳥が死んでいるのを見つけた場合

野鳥も飼われている鳥と同じように様々な原因で死亡します。飼われている鳥と違って、餌が取れずに衰弱したり、環境の変化に耐えられずに死んでしまうこともあります。

また、野鳥は、鳥インフルエンザ以外にも様々な細菌や寄生虫などの病原体を持っていたりしますので、人の体に感染することを防止することが重要となります。

よって死亡している野鳥を見つけた場合には、素手で触らず、次のとおり対応していただきますようお願いいたします。

高病原性鳥インフルエンザに対し、感染リスクの高い日本の野鳥種

目	科	種
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ
		カンムリカイツブリ
		ハジロカイツブリ
ペリカン目	ウ科	カワウ
コウノトリ目	サギ科	アオサギ
		ダイサギ
		アマサギ
		ゴイサギ
		コサギ
カモ目	カモ科	コブハクチョウ
		オオハクチョウ
		コハクチョウ
		マガモ
		オナガガモ
		マガン
		シジュウカラガン
		ホシハジロ
		キンクロハジロ
		タカ目
チュウヒ		
ツル目	クイナ科	ノスリ
		クマタカ
チドリ目	カモメ科	サシバ
		オオバン
フクロウ目	フクロウ科	ハヤブサ
		チョウゲンボウ
スズメ目	カラス科	ユリカモメ
		ワシミズク
スズメ目	カラス科	コノハズク
		ハシブトガラス
		ハシボソガラス
スズメ目	カラス科	ミヤマガラス

表の野鳥種については、1羽でも死亡しているのが確認された場合、林業振興課(南郷:59-1603、西郷:66-3611、北郷:62-6203)へ連絡をお願いします。

その他の種については、同一場所で3個体以上死亡しているのが確認された場合は上記同様の対応をしていただき、それ以外(その他の種1羽死亡等)については、細菌や寄生虫に感染しないよう、死亡した鳥を素手で触らずにビニール袋に入れてきちんと封をすることにより各々により廃棄物として処分することも可能となっております。

なお、野鳥種等わからない場合について、役場・林業振興課へ連絡していただければ対応させていただきます。

日常生活において

野鳥の排泄物等に触れた後は、手洗いうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありません。

しかし、野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがありますので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、靴で糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。

また、不必要に野鳥を追い立てたり、捕まえようとするのは避けてください。

鳥インフルエンザウイルスの人への感染について

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。

春季全国火災予防運動

3月1日(火)~7日(月)

火災が発生しやすい季節です。火災の発生防止、火災による死亡事故の減少等を目指し春季全国火災予防運動を実施します。日頃から、1人ひとりが火元の確認を行うことが火災予防につながります。次の「7つのポイント」を心がけていただき、火災予防にご協力をお願いします。

火災予防7つのポイント

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
2. 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
3. 天ぷらを揚げるときは、その場所から離れない。
4. 風の強いときは、たき火をしない。
5. 子供にマッチやライターで遊ばせない。
6. 電気器具は正しく使い、タコ足配線はしない。
7. ストープには、燃えやすいものを近づけない。

スポーツ安全保険の加入について

平成23年度のスポーツ安全保険の受付が3月より始まります。スポーツに限らずレクリエーション活動、文化活動を行なう団体も5名以上から加入できます。

町体育協会加盟団体で新規及び継続で加入される団体は、教育委員会各事務所へお申込み下さい。その他前年度加入団体には代表者住所に案内が届きますが、新規に加入される団体は、教育委員会各事務所に備え付けてある「加入依頼書」もしくはインターネットをご利用下さい。

万一のケガや賠償責任などの事故に備えましょう。

保険期間 平成23年4月1日から翌年3月31日

加入に必要なもの 掛金、加入者の氏名・年齢、振込手数料

保険内容

加入対象者 活動内容	加入区分 及び掛金 (1人年額)	対象となる 事故の範囲	傷害保険 補償額				その他賠償 責任保険・突 然死葬祭費 用保険があ ります。
			死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日)	通院 (1日)	
子ども (中学生以下)	A1 600円	団体の活動中 とその往復中 (注1)	2000万円	3000万円	4000円	1500円	
	AW 1150円		2100万円	3150万円	5000円	2000円	
		上記以外の 個人活動	100万円	150万円	1000円	500円	
大人 (高校生以上)	A2 600円	団体の活動中 とその往復中 (注1)	2000万円	3000万円	4000円	1500円	
	C 1600円		2000万円	3000万円	4000円	1500円	
	AC 1100円		1000万円	1500万円	2500円	1000円	
全年齢	B 800円	団体の活動中 とその往復中	600万円	900万円	1800円	1000円	
	D 9000円		500万円	750万円	1800円	1000円	

(注1) 学校管理下を除く (注2) Cでも加入できる

詳細はお問い合わせ下さい。

【問合せ先】財)スポーツ安全協会宮崎県支部 電話 0985-55-3136
インターネット申込 <http://www.spokyo.jp/spoannet.html>

保険証切替のお知らせ

70歳から74歳までの国保加入者の方へ

制度改正によって平成23年4月から70歳から74歳までの国保加入者の方(現役並み所得者を除く)は、自己負担額が引き続き平成24年3月まで1割に据え置かれることとなりました。

現在お持ちの保険証には「一部負担の割合2割(平成23年3月末までは1割)」という表記になっており、保険証を切り替える必要があります。対象の方には、以下の期間に保険証を送付いたしますので、古い保険証は最寄の役場町民生活課までご返却いただくか、はさみ等で裁断し処分してください。詳しいお問い合わせは次の問い合わせ先までお願いいたします。

保険証切替対象者:70歳から74歳までの国保加入者の方(現役並み所得者を除く)

交付方法:郵送で送付いたします

送付期間:3月下旬(予定)

問合せ先:町民生活課 ☎0982-66-3604

事故にあわれた方の 無料相談

交通事故にあわれた方のご相談に専門の相談員が応じます。お悩みの方は、まず電話をお願いします。

相談日
月曜日～金曜日(祝日を除く)
9:00～12:00・13:00～17:00
弁護士相談
毎週第3木曜日
13:30～16:00(無料/予約制要面談)

問い合わせ先
社団法人日本損害保険協会
宮崎自動車保険請求相談センター
☎0985-28-1199



いろいろな虫をいろいろな角度から眺めると、今までと違った見方ができました。

ブーン・オド・ロキ
虫百科

養老 孟司 著

肥料も農薬も使わず、自然の力だけでりんごを作ったりんご農家の苦労と発見の話です。

すべては宇宙の采配
木村 秋則 著

	電話	休館日	開館時間	種類	書名	著者名等
南郷区公民館図書室	59-0126	土日祝日	8:30～17:15	一般	本日はお日柄もよく	原田 マハ
				一般	あきらめないで	佐野 有美
				一般	埋葬	横田 創
				一般	ミツバチが告げる人類の滅亡	遠辺 邦雄
				絵本	ふた パリへいく	ユリア・ヴォリ
				絵本	タップのゆめ	アン マサコ
西郷図書館	66-2636	月祝日	9:30～18:00 ※土・日 17:00	一般	きことわ (芥川賞)	朝吹 真理子
				一般	月と蟹 (直木賞)	道尾 秀介
				一般	マボロシの鳥	太田 光
				一般	奇跡の教室	伊藤 氏貴
				絵本	いま、なんさい?	ひがし ちから
				児童	IQ探偵タクト 密室小学校	深沢 美潮
北郷図書館	62-6205	月祝日	8:30～17:15	一般	シアター! 2	有川浩
				一般	お徳用愛子の詰め合わせ	佐藤愛子
				一般	村上春樹雑文集	村上春樹
				児童	NHKスポーツ大陸 石川遼 他	日本放送協会
				児童	若おかみは小学生! PART 15	令丈ヒロ子
				YA	ユリシーズ・ムーアと鏡の館	ビエールドメニコ・パツカラリオ

利用したい図書等のご要望がございましたら、お近くの図書館(室)にお気軽にご連絡下さい。参考にさせていただきます。
「YA」はヤングアダルト向けの略

新刊図書のご紹介

今月は西郷図書館から
オススメの2冊を紹介いたします。

自衛官を募集しています

次のとおり一般曹候補生の募集を行っております。

募集人員:陸上 約 3,000名
海上 約 610名
航空 約 800名

資格:18歳以上27歳未満の者

受付期間: 2月1日～5月6日
8月1日～9月9日

入隊校:平成24年3月下旬～4月上旬
その他、幹部候補生や予備自衛官補の募集も行っております。詳しくは、自衛隊日向地域事務所(電話52-6914)までお問い合わせ下さい。

広い海を舞台に!! 海上保安官募集

海上保安庁では、海上保安学校学生を募集しています。試験日程、受験資格については次のとおりです。詳しくは、海上保安庁ホームページをご覧ください。

海上保安学校(特別)

(1)試験日程
受付期間 平成23年4月1日(金)～4月8日(金)
第1次試験 平成23年5月15日(日)

(2)受験資格
高等学校またはこれと同等と人事院が認める学校を卒業し、又は卒業する見込みであり、入学する年の4月1日現在で24歳未満で必要な受験資格を満たしている者
海上保安学校学生(特別)は、10月期入学生です。

地域医療を守るための宣言！

平成23年1月25日に町内3区合同の区長会が、西郷「こーホー」センターで開催されました。
 その中で、昨年8月から12月にかけて、町内22箇所で開催された、美郷町の地域医療と健康を考える座談会を開催し、さらに、広報みさととの22年6月号・10月号・23年1月号・2月号にも掲載されたことで、座談会に参加された方のみならず、「地域医療」と「健康づくり」の大切さの理解をいただいたことを確認いたしました。
 そのうえで、3区の全区長22名による意志表明として、「美郷町の地域医療を守るための宣言」に署名がされました。（左記宣言のとおり）

「このことは、今後、美郷町の医療を守り健康づくりを推進していくうえで、目に見える大きな歩」となりました。
 この輪を広げるために、住民のみなさんの実践行動として、各区长と公民館長とが連携して、これまでも続けてこられて来たことですが、地域医療を維持し、健康づくりに努める「この理解と支援について、地域の住民のみなさんに再認識していただき、賛同していただくことで、医療の支援は「医師確保」につながる、健康の理解は「健康づくり」の推進へのさらなる一歩につながるります。



町内22区の全区長が署名

美郷町の地域医療を守るための宣言

私たち美郷町の区長は、今後も美郷町の地域医療と健康づくりの支援と理解を深め、医師の確保と特定健診の受診率向上に資するなど、次の事項を実践することを宣言します。

【地域医療】

病気や怪我などの時に遠方まで行かずに、身近にある医療施設を受診でき、治療や専門の医療機関を紹介されることで、安全と安心を感じています。

- ① かかりつけ医を持ちます
- ② できるだけ昼間に受診します
- ③ 引き続き安易な休日、夜間の受診は控えめです
- ④ 医師と患者さんとの思いやりのある関係をつくります

【健康づくり】

健(検)診を受けることで健康状態を確認し、検査の内容によっては精密検査を受けるなど、早期発見と治療で自分の健康は自分で守ることの大切さを理解しています。

- ① 日頃から運動や食事に気をつけます
- ② 特定健診などの健(検)診で病気の早期発見に努め、健康維持・増進を図ります
- ③ 公共施設等での禁煙・分煙の徹底を図ります

平成23年1月25日

美郷町西郷区

地区長 柴田 大郎
 上野原地区長 田口 重夫
 小川地区長 大木 保雄
 飯島地区長 山下 孝夫
 花水地区長 吉田 照子
 和野地区長 三原 進
 南郷地区長 平田 真人
 橋本地区長 林田 夏弥
 下郷地区長 小橋 正光
 中郷地区長 村久 正志
 上郷地区長 藤本 敦

美郷町南郷区

水清地区長 森 泰治
 神門第二地区長 高橋 次郎
 神門第一地区長 村田 真
 五神野地区長 高見 堂
 廣井地区長 松田 隆夫

美郷町北郷区

中郷地区長 林田 幸雄
 中郷地区長 鹿野 誠夫
 高野地区長 寺和 昌夫
 飯島地区長 横田 繁
 入下地区長 村田 隆夫
 橋本地区長 平田 真人



皆で守ろう！地域医療

住民

(応援)絆(信頼)

医師

地域医療を守る 相互に 健康長寿をめざす 関係

健康で安心していきいきと生活するために、

気になったら相談できる「かかりつけ医」をもち、

日頃から、運動や食事に気をつけ、

健(検)診で病気の早期発見に努め、健康長寿をめざす

もちろん、

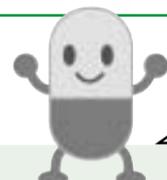
安易な夜間や休日の受診(コンビニ受診)なんかしない

医療機関を受診する時は、

感謝の気持ち を忘れない

これからもずっとそんな住民でいよう！

1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後に薬



お薬の話

お薬には大きく分けて、2つの種類があります。
 かぜ薬のようにそのひどい症状を治すためのお薬と、血圧や糖の薬のようにひどくならなうように体調を保つためのお薬です。

かぜ薬はきつい時にのみ薬で、皆さんきちんと飲まれますし、良くなったら飲みきって終了することのできるお薬です。一方、血圧や糖の薬は、その薬を飲んでいることによって、今の良いからだの調子をずっと保つためのお薬です。自己の判断等で、飲まなかったり、飲み忘れていたりすると、ひどくなったり悪くなったりと困ったことになるものです。ですから、なるべくのみ忘れのないような工夫が必要です。

そのためにも食事の時間や、食事と食事の間を普段から同じように保ち、その時にあわせてお薬を飲むほうが良いでしょう。食べる前に食卓に薬を必ず出しておくという習慣も良い方法です。

特に注意したいのは、お薬を飲むときの水の量です。お薬を水で飲むというのは、お腹の中に薬を入れるというだけではなく、胃の中でお薬が溶けるのに必要な水分を入れることにあります。のどや食道にお薬がくっつくのを防ぐだけでなく、お薬をきちんと溶かして効くようにするためにもお水はコップ一杯くらいは飲みましょう。一度に飲めない方はお薬を1つずつ飲んでいく方法もあります。そして最後にもう1口お水を飲んでください。

食事でおなが一杯になっていることもあるかと思いますが、それによって、食べ物もこねられ吸収されていくので、体の中に栄養がずっとまわっていくでしょう。

お薬についての疑問などがありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

西郷病院 薬剤師・児玉 (66 3141)

【旬】この時期、この味をいかがでしょうか。 きんかんなます

西郷特産・完熟きんかんを使った「なます」です。

きんかんの甘ずっぱさが、味をまろやかにしてくれます。

きんかんは風邪予防や抗菌作用があるビタミンCを含み、のどの炎症を鎮める作用もあります。

材料（2人分）

大根	120g	砂糖	大さじ1弱
人参	20g	薄口醤油	小さじ1
きんかん	2個	ごま	少々
酢	大さじ2/3	塩	少々

大根・人参は千切りし塩もみ、さっと水洗いしてしぼる。

きんかんはうすく輪切りにし種を除き、大根・人参と三杯酢で和える。



美郷町食生活改善推進協議会

健(検)診を受けていますか？

～大切な命を守るため、必ず受けて下さい。健(検)診！～

美郷町の3大死因(悪性新生物・心疾患・脳血管疾患)を全国や県と比較してみるといずれも全国よりも死亡率が高いことがわかります。

悪性新生物(がん)の最も大きなリスクは喫煙で、男性のがんの3分の1が喫煙に関係していると推定されています。

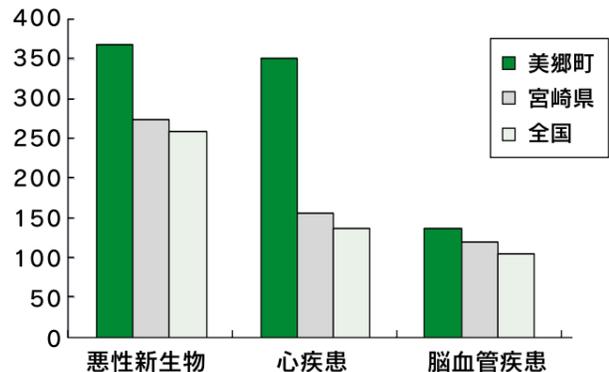
心疾患・脳血管疾患には動脈硬化が大きく関係しています。動脈硬化の原因は高血圧・脂質異常・高血糖などです。

いずれの病気も健(検)診を受けることにより、異常の早期発見ができます。

又、生活習慣改善(禁煙・節酒・バランスのとれた食事・適正体重の維持)で、がん・心疾患・脳血管疾患になることを予防できます。

忙しい毎日、自分の健康をかえりみる余裕もなかなか持てないかもしれませんが、まず自分のため、家族のため健(検)診を受けましょう。

平成21年度3大死因による死亡率の比較



町のデータから 特定健診の受診率を上げよう！

22年度に実施しました美郷町の特定健診受診率は、51.3%。21年度の受診率57.5%より6.2%減少しています。特定健診は、40歳から74歳の方が対象で、病院で治療を受けている方も受診の必要があります。

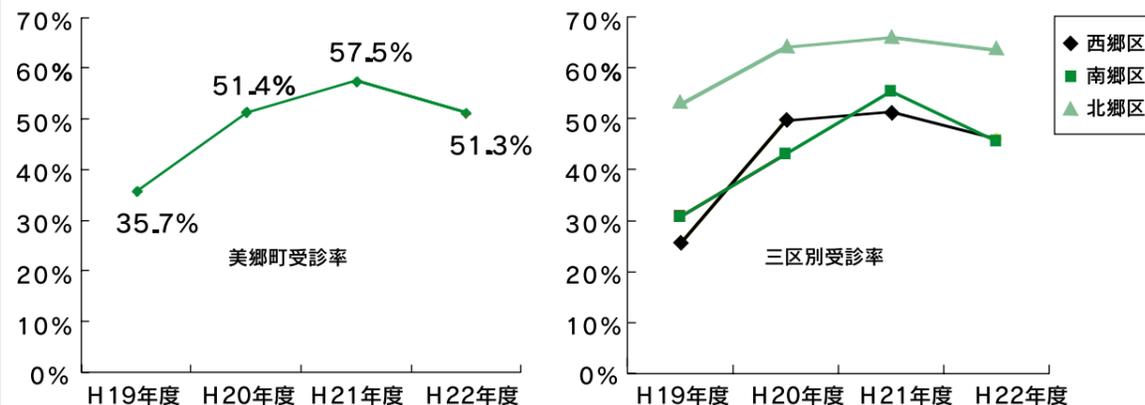
特定健診の受診率は国からの目標が設けられており、その目標達成率は平成25年度以降、国保が支払う後期高齢者医療への負担金額に反映されます。そのため、特定健診の受診率が目標の65%に達しない場合、国保の保険料が上がる可能性があります。

美郷町は平成24年度までに特定健診受診率65%以上を目指しています。

ご自身の健康管理や医療費抑制、国保財政の安定のためにも必ず受診をお願いいたします。

なお、特定健診と同じ項目の血液検査等を病院で実施されている方は、町の指定した用紙「診療情報提供票」に病院から記入いただき、役場へ提出すると特定健診を受診したと同じ扱いになります。詳しくは各支所健康福祉課までお問い合わせ下さい。

特定健診受診率推移



美郷町は、平成24年度に受診率65%を目指しています。

3月 保健事業予定表

日	内容
南郷	2水 母と子の保健センター開放日(10:00～ 南郷保健センター)
	8火 母子相談(13:30～ 南郷保健センター)
	9水 母と子の保健センター開放日(10:00～ 南郷保健センター)
	16水 母と子の保健センター開放日(10:00～ 南郷保健センター) MR予防接種(受付15:45～ 南郷診療所)
	18金 音遊び教室「ぼんぼこクラブ」(10:30～ 南郷保健センター)
	23水 母と子の保健センター開放日(10:00～ 南郷保健センター) 三種混合予防接種(受付15:45～ 南郷診療所)
西郷	2水 健康相談・壮快塾(10:00～11:30 立石集会所)
	8火 MR予防接種(13:45～ 西郷健康管理センター)
	9水 健康相談・壮快塾(10:00～11:30 下八峽コミュニティセンター)
	24木 三種混合予防接種(13:45～ 西郷健康管理センター)
北郷	3木 うりぼうの広場(10:00～12:00 北郷保健センター)
	11金 幼児健診(13:00～ 北郷保健センター)
	17木 ぶちMAMAサークル(10:00～12:00 北郷保健センター)

平成23年度特定健診・がん検診希望調査の提出をお願いします。

今回、平成23年度の特定健診・がん検診希望調査書を対象の方に配付しています。

同封の説明書を読んでいただき、指定された日までに(小)組合長さんまで提出をお願いします。

町の実施する特定健診は国民健康保険の方が対象で、社会保険の方はそれぞれ加入している保険者から個別に案内があります。

がん検診については、加入している保険に関係なく町民で対象年齢の方であれば受診できますが、今回の希望調査での申込が必要です。

正確な対象者を把握するために、すでに病院や個人でがん検診を受けられた方もその旨、記入提出下さい。ご記入いただいた内容は検診以外の用途には一切使用いたしません。ご協力をお願いします。健康福祉課

平成23年度介護予防のための基本調査票の提出をお願いします。

美郷町では、介護予防のための基本調査票を65歳以上の方で要介護(支援)認定を受けている方以外の方を対象に配布しています。

この調査は、65歳以上の方が日常生活に必要な機能が低下していないかを調べる調査で生活機能評価を行います。普段の生活や心身の状態に関する質問に「はい」「いいえ」で答える簡単な調査です。

ご記入いただいた内容は、目的以外には一切使用いたしません。

3月15日(火)までに小組合長さんに、ご提出下さい

ご協力をお願いします。

健康福祉課 介護保険係

木酢液 防疫で有効活用

1月20日(木)にJA日向北郷支店にて北郷区木炭部会から北郷区内の畜産農家に木酢液が寄贈されました。

これは、昨年の口蹄疫発生時に食酢・木酢液が防疫に効果が期待されると言われ、北郷区木炭部会でも配布を検討し、今回、県内一斉消毒の日(毎月20日)に合わせて実施することになりました。木酢液は、製炭時に出る煙を冷やし精製されるもので、部会内でも副産物の有効活用について協議を重ねてきました。畜産農家には、この木酢液を500~1000倍に希釈し牛舎に散布することで消毒や消臭・殺菌、堆肥の発酵促進などに効果があるようです。畜産農家を代表して北郷区和牛改良組合の本田和己部会長が受取り、感謝の言葉を述べ、「今後とも有効的に活用させていただきます」と話していました。



地域トピックス

若宮区植樹祭

平成23年1月30日(日)、若宮公園管理協会(会長:田村俊郎)を中心とし、若宮神社周辺、河川敷公園周辺にて植樹祭を行いました。当日は、区民約60人が集まり、午前中に草刈り、午後に植樹(ツツジ等275本)をしました。

この植樹祭は、平成16年から実施しており今年で8回目となっております。前日に野尻町にある県緑化木養成圃場へ樹木を受取りに行き、当日に草刈り・植樹祭をするという活動となっております。区民参加型で行うことにより環境美化活動に努め、四季折々の緑化を楽しみ、活気ある地域「若宮地区」にすることを目的として今後とも取り組んでいくこととしています。



鬼神グループが 宮崎日日新聞農業技術賞を 受賞しました!!

平成23年1月28日(金)に、第53回宮崎日日新聞農業技術賞の贈呈式が宮崎市で行われ、本町の鬼神グループ(南郷区)が加工の部門で表彰されました。当グループは、平成4年に発足した地元の農林産物を活用した特産品づくりに取り組んでいる女性加工グループです。特に、「ゆずドレッシング」は学校給食でも使用されており、「野菜嫌いが治った」など、子供たちからも人気の商品です。また、町内の4つの起業グループで組織される「美郷★母ちゃんネット」でも主体的に販路拡大等の活動に取り組んでいます。

今回、そのような活動が山間地域の女性起業グループの先進的なモデルとして評価されました。これからも応援をよろしくお願いします!



美郷町の人口

		前月	今月	増減
人口	男	3,202	3,199	△3
	女	3,459	3,451	△8
	計	6,661	6,650	△11
世帯数		2,860	2,859	△1

平成23年1月31日現在 (住民基本台帳による)

宮崎県議会議員選挙投票日 4月10日(日)

大切な一票 必ず投票しましょう

買い物や仕事で当日投票所で投票できない方は「不在者投票」、入院等で施設に入所されている方は「不在者投票」ができます。選挙に関する問い合わせは美郷町選挙管理委員会(66-3601)までどうぞ。

